



## 外国出張報告書

平成 26 年 8 月 7 日

1. 出張国名       ベトナム・ラオス
2. 出張月       平成 26 年 4 ～ 8 月
3. 出張目的       ・農家試験圃場における春夏作のイネ収穫及び夏秋作の準備等：A  
                  ・圃場栽培試験・ポット試験の実施、土地利用調査、作物・土壌分析の実施：C
4. 成果の概要

「気候変動対応」では、カントー市内のTanloi2農家圃場で、春夏作のイネ収穫作業を行い、6月からの夏秋作でのメタン・亜酸化窒素ガス測定のために機材を設置した。平成26年度の調査・作業内容について、現地協力農家と打合せを行い、現地での出納業務を実施した。

本年度に導入予定のHPLCについて、手続きや機材管理方法に関する打ち合わせを行った。

「インドシナ農山村」では、ナムアン村の農家特性を把握するために委託した聞き取り調査データを取得し、データ収集の完了を確認した。

陸稲栽培の営農体系の問題点を把握するため、ナムアン村での土地利用調査を継続するとともに、北部ルアンパパンからも1村を選択し、同様の調査を行った。

ナムアン村で採取した土壌・植物体の分析を行った。

ナムアン村において、陸稲生産の阻害要因解明のための圃場試験を開始した。

ラオス農業研究センターで、品種導入、土壌肥沃度管理・作付体系・除草法の開発に必要なポット試験の準備を行った。